

人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根をつくる



令和4年度

益田県土整備事務所

主要事業の紹介

令和4年8月

「主要事業の紹介」は、現時点の予定であり、今後の進捗等の状況により、変更となる可能性があります。

【目次】

益田県土整備事務所（本所）

（１）維持管理部の事業

①橋梁耐震事業	P. 1
②落石対策事業	P. 3
③舗装修繕事業	P. 4
④老朽化対策事業	P. 5

（２）農林工務部の事業

①ほ場整備事業	P. 6
②農道整備事業	P. 7
③ため池整備事業	P. 8
④地すべり事業	P. 9
⑤復旧治山事業	P. 10
⑥林道整備事業	P. 12
⑦林業専用道開設事業	P. 13

（３）土木工務部の事業

①道路事業	P. 14
②河川事業	P. 16
③砂防事業	P. 17
④港湾事業	P. 18
⑤海岸事業	P. 19
⑥街路・道路事業	P. 20
⑦公園事業	P. 21
⑧空港事業	P. 22
⑨災害復旧事業	P. 23

① 橋梁耐震事業

R3補正予算額： ー千円
R4当初予算額：70,000千円

【事業概要】

緊急輸送道路※上にある「橋長15m以上かつ複数径間の橋梁」を対象として、令和11年度までに耐震性の低い橋梁の耐震補強を進めています。（※緊急輸送道路とは：2ページをご参照ください）

【事業箇所】

- ・国道191号 18橋
- ・(主) 益田阿武線 4橋
- ・(主) 浜田美都線 3橋
- ・(一) 波佐匹見線 1橋
- ・(一) 益田吉田線 1橋

【施工事例】



地震時に橋脚が壊れないようにコンクリート等で補強する橋脚補強や、橋が落ちないようにするための落橋防止対策をおこなっています。

【事業計画】

- ・27橋のうち
完了21橋、未完了6橋

【R4年度事業内容】

- ・耐震化工事 (主) 浜田美都線 板井川大橋
- ・耐震化設計 国道191号 観音橋 (笹倉)

【期待される整備効果】

- ・緊急輸送道路上の橋梁について耐震補強を行うことで、大規模地震発生時における円滑な救急・救援活動や緊急物資の輸送にとって不可欠な道路の通行を確保します。



2. 緊急輸送道路ネットワーク計画

緊急輸送道路は、災害発生直後から行われる緊急輸送を円滑かつ確実に実施するために必要な道路である。このため、隣接県と連絡する広域幹線道路（高速自動車国道、一般国道など）や広域幹線道路と県内の防災拠点を連絡する道路、または防災拠点を相互に連絡する道路を緊急輸送道路に選定している。

また、災害時に緊急輸送道路の機能を発揮するためには、道路の耐災性が確保されているとともにネットワークとして機能することも重要である。

緊急輸送道路ネットワーク計画は、自然条件、産業・経済、都市構造等の地域特性を踏まえ、防災拠点を効率的に連絡し、緊急輸送が円滑・確実に実施できるように設定する。

2-1 緊急輸送道路の区分

緊急輸送道路は、災害発生後の利用特性により以下の3つに区分する。

第1次緊急輸送道路

- ・ 島根県と隣接県との広域的な連携を確保する緊急輸送道路ネットワークの骨格となる道路。
 - ・ 東西、南北方向の広域的な連携を確保する高規格幹線道路、および主要な一般国道を設定する。
- また、これらの路線と第1次防災拠点を連絡する路線を設定する。

第2次緊急輸送道路

- ・ 県内市町村相互の連携の確保及び第1次緊急輸送道路を補完し、緊急輸送道路ネットワークを形成する道路。
- ・ 第1次緊急輸送道路と第2次防災拠点を連絡する路線を設定する。

第3次緊急輸送道路

- ・ 第1次及び第2次緊急輸送道路と第3次防災拠点を連絡する路線を設定する。

② 落石対策事業

R3補正予算額：105,000千円
R4当初予算額：215,170千円

【事業概要】

- ・「落石に係る道路防災計画」（令和2年12月改訂）にもとづき、「第一段階」として、落石頻度の高い30cm未満の石を対象とした対策を、令和2年度から概ね15年間で実施します。
- ・この対策は、第1次緊急輸送道路である国道191号を、広域的な連携を確保するために優先して実施しています。
- ・他の危険箇所では毎年定期点検を行い、危険度を評価をしながら、必要に応じ、緊急的な落石対策も実施します。

【事業箇所】

- ・国道191号
島根と広島を結ぶ緊急輸送道路

【事業計画】

- ・33箇所の対策必要箇所のうち
完了 17箇所
事業中 16箇所

【R4年度事業内容】

- ・国道191号
(笹倉～道川) 4箇所
落石防護網工など

【施工事例】

(着手前)



(完成後)



落石防護網設置
国道191号 美都町丸茂地内

【期待される整備効果】

- ・通行する車両や歩行者に対して、落石からの被害を未然に防ぎます。

③ 舗装修繕事業

R3補正予算額： ー千円
R4当初予算額：145,000千円

【事業概要】

安全・円滑な通行環境の整備を図るため、交通量に応じた管理基準を定めて、舗装路面の段差やひび割れを順次修繕しています。

【事業箇所】

・令和4年度：管内6路線7箇所（国道1路線2箇所、主要地方道1路線1箇所、一般県道4路線4箇所）

【施工事例】

国道191号

久々茂地内



(主) 益田阿武線

市原地内



(一) 益田種三隅線

遠田地内



④ 老朽化対策事業

R3補正予算額：55,000千円
R4当初予算額：62,000千円

【事業概要】

- ・道路の橋梁、トンネルなどの重要な構造物を、5年に1回点検し、健全度の判定を行っています。
- ・健全度の結果から、早急に修繕が必要な状態と診断された施設について、対策工事を実施します。

【事業箇所】

- ・国道、県道の
橋梁、トンネルなど

【事業計画】

- ・橋梁 256橋
- ・トンネル 25本 など

【R4年度事業内容】

- ・橋梁支承取替工事 1橋
- ・橋梁塗装工事 1橋

【期待される修繕効果】

- ・建設されてから長時間経ち老朽化した施設を、点検によって把握し、計画的に修繕します。
- ・計画的に点検し修繕工事を実施することで、施設の寿命を延ばします。

【施工事例】

(着手前)



(完成後)



川下橋 下種町地内
全面塗装塗替

① ほ場整備事業 中山・長福地区

全体事業費 : 1,320,000千円
 R3補正予算額 : 152,000千円
 R4当初予算額 : 18,000千円

【事業概要】

中山・長福地区は山口県と接する津和野町の北西部に位置し、水稻を中心とした農業が盛んな中山間地域です。昭和57年度～平成7年度にかけて第1次ほ場整備を行っていますが、現代農業には区画が狭く、また用排水路などの農業用施設も老朽化が目立ってきたため、農作業の効率化や生産性向上、さらには持続的な地域農業を目指してほ場整備を行っています。



【事業箇所】

鹿足郡津和野町中山・長福地内

【事業計画】

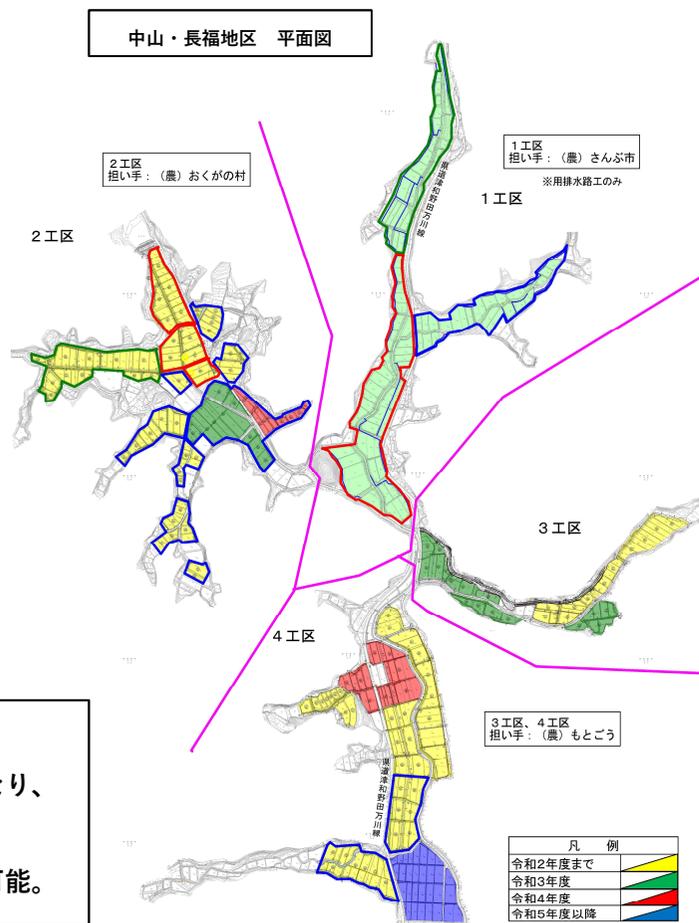
- ・ 事業期間：H29年度～R8年度
- ・ 区画整理工 A=52.2ha
- ・ 用排水路工 A=15.7ha
- ・ 暗渠排水工 A=32.4ha

【R4年度事業内容】

- ・ 区画整理工 A=5.1ha
- ・ 用排水路工 A=4.2ha
- ・ 暗渠排水工 A=5.0ha

【期待される整備効果】

- ・ 水田・畑の大区画化による農作業の効率化。
- ・ 排水対策を行うことで水田の畑地化が可能となり、収益性の高い作物の栽培が実現。
- ・ 担い手に集積することで持続的な地域農業が可能。



着手前（令和3年4月）



竣工後（令和4年3月）



② 農道整備事業 西石見地区

【事業概要】

昭和52年度～平成12年度に整備された西石見広域農道は、国営農地開発地など西地域最大営農団地の農作物等の広域的な流通経路として活用されてきた一方、全区間が益田市地域防災計画の避難経路に指定され、また、一部区間が島根県緊急輸送道路ネットワーク計画において第二次緊急輸送道路にも指定されるなど、災害発生時の重要な道路としても位置付けられています。しかし、本農道の一部箇所において、法面の老朽化による落石や吹付モルタルの剥離が発生し、通行上の危険が生じているためこれら法面の補修を行います。さらに平成8年に架設された「ほたる大橋」及び平成9年に架設された「第二ほたる大橋」が現行の耐震基準を満たしていないため、大規模地震に備えて、耐震補強を行うものです。



【事業箇所】

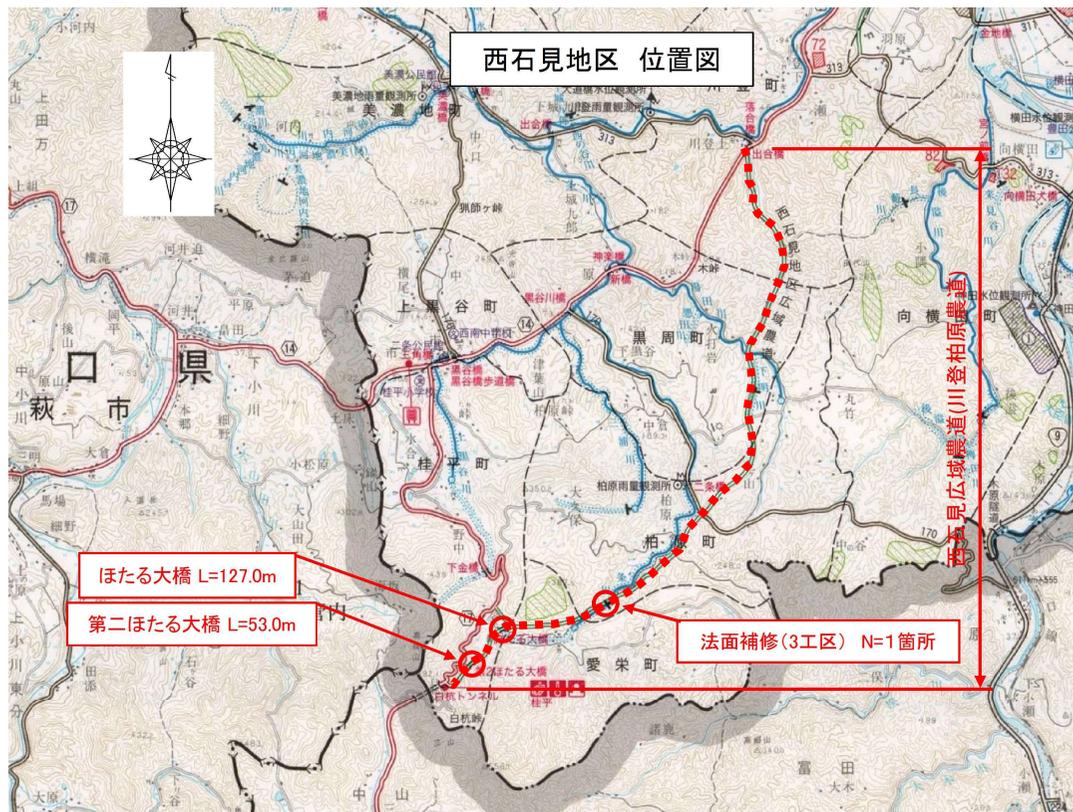
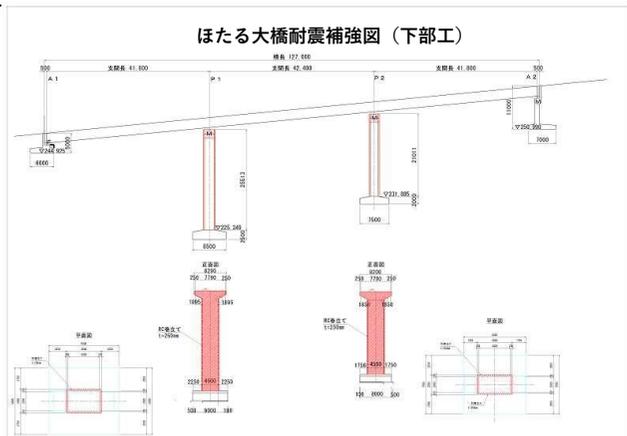
益田市桂平町地内ほか

【事業計画】

- ・ R2年度～R7年度
- ・ 法面補修工 N=2箇所、橋梁耐震補強 N=2箇所

【R4年度事業内容】

- ・ 法面補修工 N=1箇所【3工区】
- ・ 橋梁耐震補強 N=1箇所【ほたる大橋下部工】

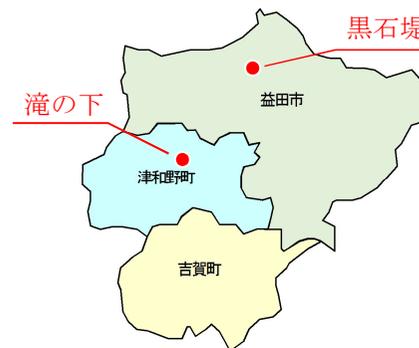


(承認番号 平28中複、第23号)

③ ため池整備事業 黒石堤／滝の下

【事業概要】

「黒石堤」、「滝の下」の両ため池は、地域の水田農業に必要な用水を確保するため、昭和初期頃に築造されました。いずれも長い年月を経過し、堤体並びに取水施設など老朽化が進行しており、あわせて、耐震性能も不足していることから、近年頻発する局部豪雨ならびに地震時において、下流域に広がる農地や人家を保全するため、本ため池の改修を行うものです。



【事業箇所】

- ・ 黒石堤：益田市遠田町地内
- ・ 滝の下：鹿足郡津和野町池村地内

【事業計画】

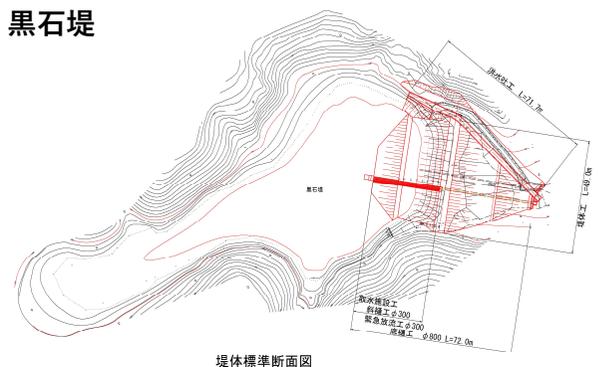
黒石堤／滝の下

- ・ R4年度～R7年度（予定）
- ・ 対策工 : 堤体改修 一式
- : 洪水吐工 一式
- : 取水施設 一式

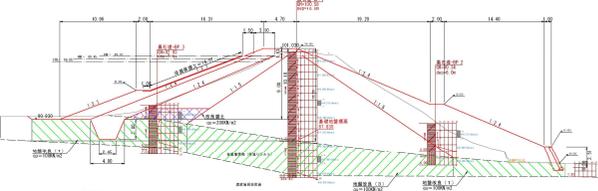
【R4年度事業内容】

- ・ 黒石堤
 実施設計業務 一式
- ・ 滝の下
 実施設計業務 一式

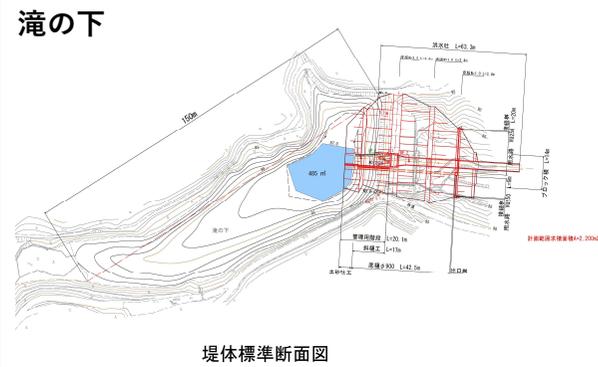
黒石堤



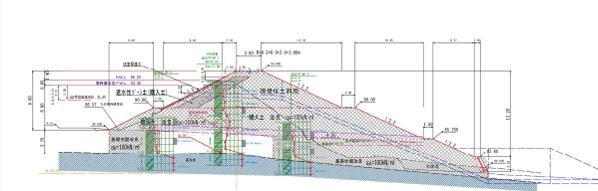
堤体標準断面図



滝の下



堤体標準断面図



④ 地すべり事業 喜阿弥地区

全体事業費 : 344,300千円
R3補正予算額 : 15,000千円
R4当初予算額 : 一千円

【事業概要】

喜阿弥地区は、傾斜地の直下に平坦な地形が広がる集水地形であり、昭和58・60年の豪雨時には、地区内全域で地すべり被害が発生しています。また、近年の集中豪雨時においても、継続して地すべり被害が発生していることから、平成27年に地すべり防止区域の指定を受け、平成28年より地すべり対策事業に着手したところです。



【事業箇所】

益田市喜阿弥町地内

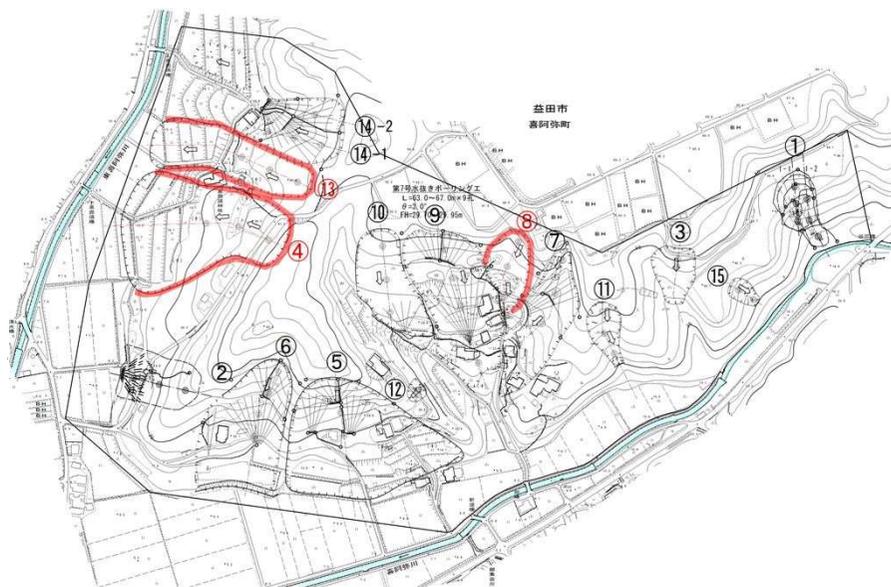
【事業計画】

- ・ H28年度～R5年度
- ・ 被害ブロック数 15測線
- ・ 対策工事計画
 - 地表水排除工 34箇所
 - 地下水排除工 16箇所

【R4年度事業内容】

- ・ 地すべり調査解析
3箇所（4, 8, 13 測線）

喜阿弥地区地すべり対策事業計画一般平面図



(被害状況)



【期待される整備効果】

・ 対策工事の実施により、地区内に広がる※約10haの「耕地」ならびに「農家」や「公共施設」に対する地すべり被害の軽減を図り、地区内農用地の保全と、安全で快適な生活環境を実現することを目的に事業を実施しています。

(※約10ha：地すべり防止区域に隣接する耕地を含む)

⑤ 復旧治山事業 立戸工区

全体事業費 : 150,000千円
R3補正予算額 : 58,000千円
R4当初予算額 : 一千円

【事業概要】

- ・保安林の公益的機能（土砂流出防備）を維持するために治山事業を推進します。
- ・谷止工を施工することにより荒廃した溪流の安定を図ります。

【事業箇所】

鹿足郡吉賀町立戸地内

【事業計画】

- ・R元年度～R4年度
- ・谷止工 N=5基
- ・流路工 L=54.2m

【R4年度事業内容】

- ・谷止工 N=3基



(承認番号 平30中複、第38号)



【期待される整備効果】

- ・谷止工により、人家、道路、その他公共施設を山地災害から保全します。

⑤ 復旧治山事業 鮎ヶ瀬工区

全体事業費 : 57,000千円
R3補正予算額 : -千円
R4当初予算額 : 29,000千円

【事業概要】

- ・保安林の公益的機能（土砂崩壊防備）を維持するために治山事業を推進します。
- ・落石対策や土砂崩壊対策を行うことにより山腹の安定を図ります。

【事業箇所】

鹿足郡吉賀町大野原地内

【事業計画】

- ・R3年度～R5年度
- ・落石防護柵工 固定工
- ・吹付法砕工

【R4年度事業内容】

- ・落石防護柵工 L=50.0m
- ・固定工 A=24.0m²
- ・吹付法砕工 A=144.4m²



(承認番号 平30中複、第38号)

【期待される整備効果】

- ・山腹の安定を図ることにより、人家、道路、その他公共施設を山地災害から保全します。

⑥ 林道整備事業 春日山線

全体事業費 : 870,000千円
R3補正予算額 : 35,000千円
R4当初予算額 : 10,000千円

【事業概要】

- ・ 林道事業では原木生産の低コスト化のため、森林資源が成熟した地域の道路網整備を進めています。
- ・ 循環型林業を実現するための広域基幹道として開設を進めます。

【事業箇所】

益田市匹見町落合地内

【事業計画】

- ・ H26年度～R14年度
- ・ 延長：3,133m
- ・ 全幅員5.0m、車道幅員4.0m

【R4年度事業内容】

- ・ 林道開設工事
- ・ 環境調査

【期待される整備効果】

- ・ 10年間で10.5ha・4,200^mの主伐、49.7ha・4,973^mの間伐が実施され、原木搬出が促進されています。
- ・ 接続する匹見美都線と併せ、地域の基幹的な林道として地域の生活環境の改善に役立ちます。



(承認番号 平28中複、第23号)



⑦ 林業専用道開設事業 島直地奥山線

【事業概要】

- ・ 林業専用道開設事業では原木生産の低コスト化のため、森林資源が特に成熟した地域に林業専用道の集中整備を進めています。
- ・ 林業生産活動に特化した道として、循環型林業を実現するために開設を進めます。

【事業箇所】

鹿足郡津和野町左鐙地内

【事業計画】

- ・ R元年度～R10年度
- ・ 延長：3,100m
- ・ 全幅員3.6m、車道幅員3.0m

【R4年度事業内容】

- ・ 林業専用道開設工事

【期待される整備効果】

- ・ 森林作業道を組み合わせた効率的な路網配置と林業機械の積極的な導入により、10年間で38.06ha・12,684m³の主伐、40.43ha・6,419m³の間伐による原木搬出が期待されます。



(承認番号 平30中複、第38号)



① 道路事業 国道488号 澄川工区

全体事業費 : 5,500,000千円
R3補正予算額 : 50,000千円
R4当初予算額 : 150,000千円

【事業概要】

- ・ 国道488号は、益田市中心部と匹見地区を結ぶ主要な幹線道路であり、合併後の益田市を90分で周回可能とする環状道路の整備計画である「グリーンライン90」の一部を形成しています。
- ・ 事業区間の現道は、匹見川と急峻な山の間位置しており、幅員が狭く、車両のすれ違いが困難なため、トンネル計画（L=0.5km）を含む道路改良を実施しています。

【事業箇所】

益田市匹見町澄川地内

【事業計画】

- ・ H29年度～R10年代
- ・ 延長：2.0km
- ・ 2車線改良

【R4年度事業内容】

- ・ 詳細設計
- ・ 用地買収
- ・ 改良工事
- ・ 落石対策工事

【期待される整備効果】

- ・ 安全で円滑な道路交通が確保され、定住促進、企業誘致、交流人口拡大などによる地域活性化のほか、合併後の新市の一体感の醸成に寄与することが期待されます。
- ・ 災害時の物資輸送路／避難路の確保、除雪の効率化により、第2次緊急輸送道路としての機能強化が図られます。



① 道路事業 国道488号 落合工区

全体事業費 : 2,200,000千円
R3補正予算額 : 35,000千円
R4当初予算額 : 171,000千円

【事業概要】

- ・国道488号は、益田市中心部と匹見地区を結ぶ主要な幹線道路であり、合併後の益田市を90分で周回可能とする環状道路の整備計画である「グリーンライン90」の一部を形成しています。
- ・事業区間の現道は、匹見川と急峻な山の間位置しており、幅員が狭く、車両のすれ違いが困難なため、道路改良を実施しています。

【事業箇所】

益田市匹見町落合地内

【事業計画】

- ・H24年度～R5年度（予定）
- ・延長：0.8km
- ・2車線改良

【R4年度事業内容】

- ・改良工事
- ・落石対策工事

【期待される整備効果】

- ・安全で円滑な道路交通が確保され、定住促進、企業誘致、交流人口拡大などによる地域活性化のほか、合併後の新市の一体感の醸成に寄与することが期待されます。
- ・災害時の物資輸送路／避難路の確保、除雪の効率化により、第2次緊急輸送道路としての機能強化が図られます。



② 河川事業 白上川

全体事業費 : 1,200,000千円
R3補正予算額 : 60,000千円
R4当初予算額 : 21,000千円

【事業概要】

- ・一級河川高津川水系の白上川は、大道橋から二条川合流点までの区間が未改修であったため、近年では、平成11年6月、平成25年8月の豪雨により浸水被害が発生しました。
- ・沿川の家屋などの浸水被害を防ぐため、平成22年度より河道改修を実施しています。

【事業箇所】

益田市川登町～美濃地町地内

【事業計画】

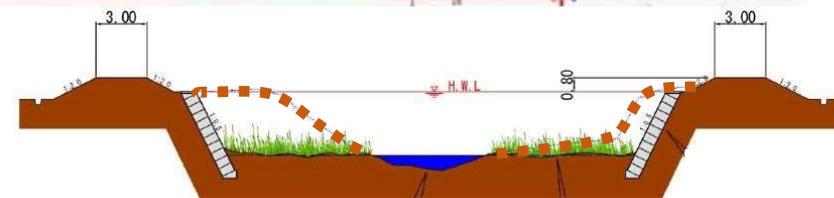
- ・H22年度～
- ・延長：1,350m
- ・河道改修
(堰撤去、護岸整備、築堤)

【R4年度事業内容】

- ・用地測量
- ・橋台工（市道橋架替）

【期待される整備効果】

- ・概ね10年に1回程度の確率で発生する洪水を安全に流下させることにより、家屋などの浸水被害を防止します。



③ 砂防事業 洗川

全体事業費 : 350,000千円
R3補正予算額 : 10,000千円
R4当初予算額 : 30,000千円

【事業概要】

- ・ 洗川は、島根県益田市波田町地内に位置し、保全対象として人家12戸、真砂公民館や真砂診療所等を抱える土石流危険渓流です。
- ・ 本溪流の流域面積は0.348km²で溪流長は1.6km程度と比較的広域ですが、現地状況は流域の荒廃が進行しており、今後の豪雨により土石流が発生する恐れがあることから、令和2年度から事業着手しました。
- ・ 本事業では、ICT施工も見据えたBIM/CIMへの取り組みも行っており、施工及び維持管理の効率化を図り、また、レーザー測量により取得したデータを活用することで、一般の方でも工事完了時のイメージがしやすいデータを作成しています。

【事業箇所】

益田市波田町地内

【事業計画】

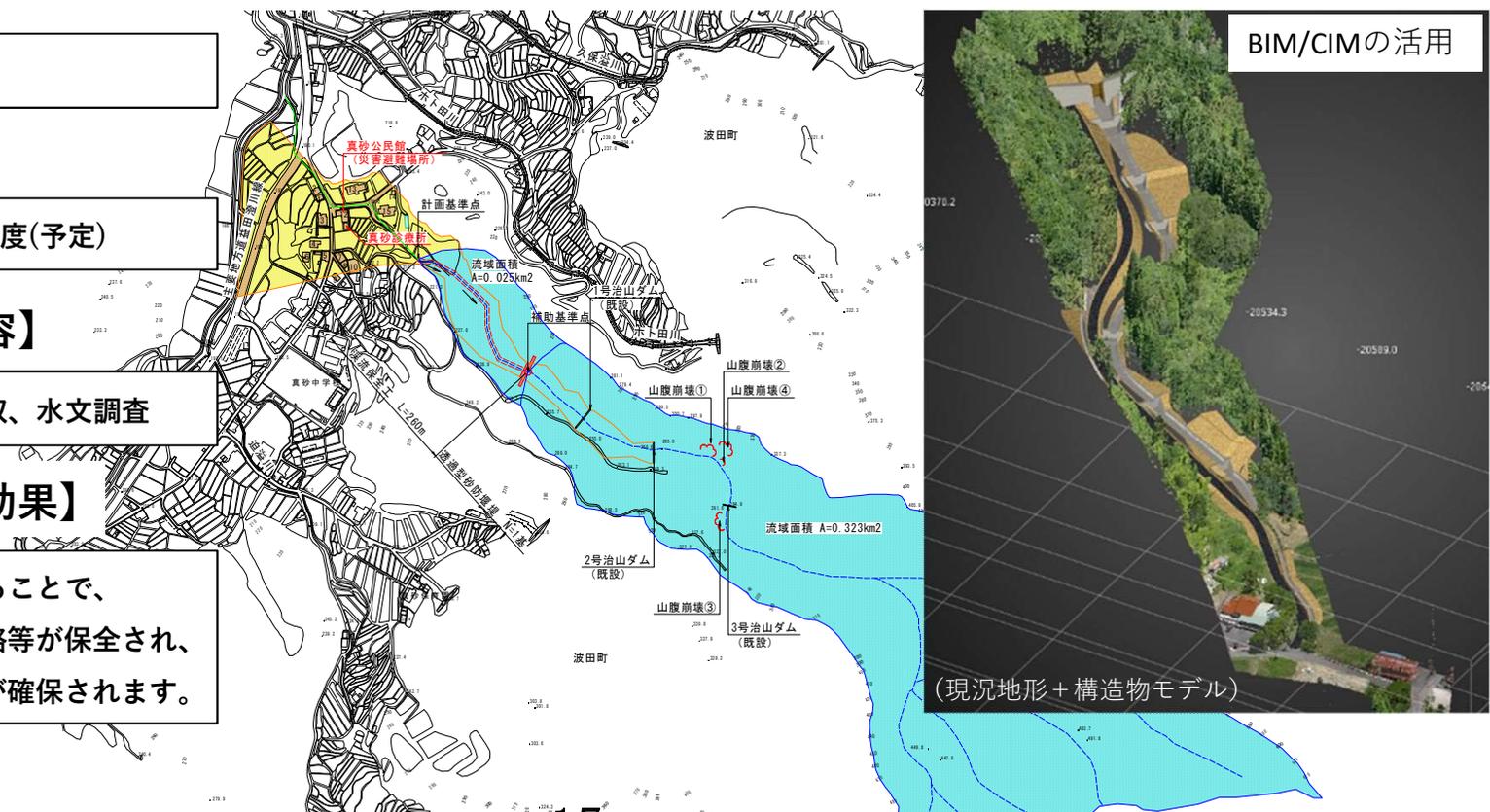
- ・ R2年度～令和10年度(予定)

【R4年度事業内容】

- ・ 用地調査、用地買収、水文調査

【期待される整備効果】

- ・ 砂防施設を整備することで、避難所、人家、道路等が保全され、地域の安全・安心が確保されます。



④ 港湾事業 益田港

全体事業費 : 5,000,000千円
R3補正予算額 : 150,000千円
R4当初予算額 : 140,000千円

【事業概要】

益田港は、島根県の最西に位置し、高津川の河口を利用した古くからの天然の良港であり、現在では、主に沿岸漁業の基地として利用されています。現在、風浪・出水による航路埋塞不安の解消および不足している係留施設の拡充のため、これに対応できる泊地・航路の整備を行っています。

【事業箇所】

益田市高津町地内

【事業計画】

・ H11年度～R10年度(予定)

【R4年度事業内容】

・ 防波堤（北）整備着手
基礎工、被覆ブロック工

【期待される整備効果】

・ 高津川河口部を通ることなく外海へ出ることが可能となり、河口埋塞の影響を受けにくくなるため、安定航行が期待されます。
・ 背後の泊地・物揚場の整備を行うことで不足する係船数を確保することができます。



⑤ 海岸事業 小浜海岸

全体事業費 : 700,000千円
 R3補正予算額 : -千円
 R4当初予算額 : 70,000千円

【事業概要】

- ・小浜海岸沿岸の民家等では毎年、小石混じりの波しぶきが飛散する被害を受けており、今後海岸浸食が進んだ場合、背後地の道路や民家等建物への影響が生じる恐れがあります。
- ・そこで、越波被害を防止する対策として、沿岸への防波フェンスの設置(令和2年度完成)および過去に施工した人工リーフの嵩上げを行うことで防災機能の向上を図る取り組みを行っており、令和4年度に部分嵩上げが完成する予定です。(第1段階施工)
- ・その後については、実施工事の効果を検証しつつ、残工事の着手について検討していく予定としています。

【事業箇所】

益田市小浜町地先

【事業計画】

- ・ R2年度～R4年度
 (第1段階施工)
 ※その後は要検討

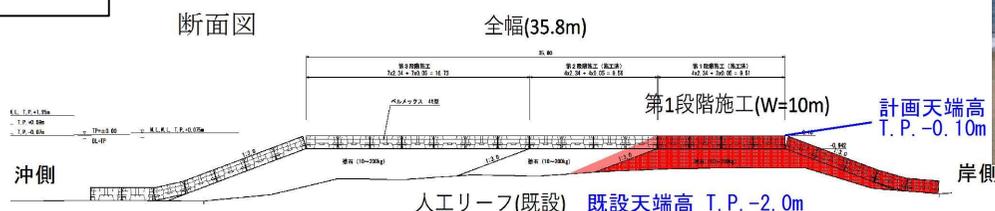
【R4年度事業内容】

- ・人工リーフ嵩上工 L=130m
 (第1段階施工完成)

[越波状況]



[防波フェンス設置状況]



⑥ 街路・道路事業 都市計画道路元町人麿線・須子中線

全体事業費 : 7,200,000千円
R3補正予算額 : 70,000千円
R4当初予算額 : 630,000千円

【事業概要】

- ・都市計画道路元町人麿線は、益田駅前地区と高津地区を結ぶ道路であり、地域間交流や物流の円滑化、渋滞緩和の効果が期待されるほか、災害時には第2次緊急輸送道路や避難路としての機能を有し、防災上も重要な役割を果たす路線です。
- ・現在は、須子町から高津二丁目までの、元町人麿線440m、須子中線280mについて事業を進めています。

【事業箇所】

益田市須子町～高津二丁目地内

【事業計画】

- ・H25年度～R7年度
- ・延長：720m
- ・幅員10.5m
(車道7.0m、歩道3.5m)

【R4年度事業内容】

- ・須子高架橋上部工工事
- ・須子中高架橋上部工工事
- ・盛土、水路工事

【期待される整備効果】

- ・新たな路線を整備することで、現道(高角橋)で課題となっている大型車とのすれ違い確保、渋滞緩和による交通の円滑化と通学路の安全確保が図れます。
- ・歩道を整備することにより、歩行者自転車通行者の安全で快適な通行空間を確保します。
- ・災害時における避難路を確保することにより、防災機能の向上を図ることができます。



⑦ 公園事業 県立万葉公園 遊具新設

R4当初予算額：17,765千円

【事業概要】

- ・ 幼児向けの遊具を新設することで、年齢に応じて、安全に安心して楽しめる場を整備します。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、公園利用者の密集回避や衛生対策に必要な施設を整備します。

【事業箇所】

【事業内容】

益田市高津町地内

遊具新設 3基



【期待される整備効果】

- ・ コロナ禍にあっても子どもが安心して楽しく遊べる場所が創出されます（子育て世代の支援）。
- ・ 公園の魅力アップを図ることにより、公園利用者の増加が期待されます。

⑧ 空港事業 萩・石見空港

全体事業費 : 2,574,000千円
R4当初予算額 : 825,000千円

【事業概要】

- ・萩・石見空港は、島根県西部および山口県北東部の空の玄関口として、東京線の定期便が運航されています。
- ・滑走路および誘導路のアスファルト舗装が老朽化していることから、全面的な改良工事を実施します。
- 併せて、航空灯火も、既存の電球式からLED式へと改良します。

【事業箇所】



【事業計画】

- ・ R2年度～R5年度
- ・ 滑走路・誘導路舗装改良
- ・ 航空灯火LED化

【R4年度事業内容】

- ・ 滑走路舗装改良
- ・ 航空灯火LED化

【期待される整備効果】

- ・ 空港安全施設の整備により、航空機の安全かつ安定的な運航が確保されます。

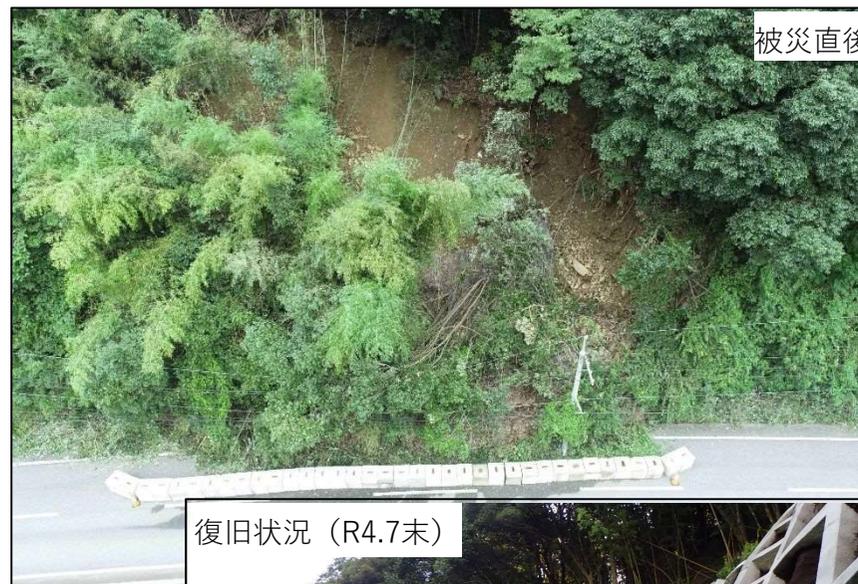
⑨ 災害復旧事業 国道488号（道路災害）

災害査定決定額：56,108千円

【事業概要】

- ・令和3年8月の台風9号による大雨災害により、道路法面が崩壊しました。
- ・一日も早く地域の方々が安心して暮らせるよう、災害復旧工事の早期完成に向けて取り組みます。

【事業箇所】



復旧状況（R4.7末）



【事業内容】

- ・R4年2月～R4年10月（予定）
- ・法枠工
- ・植生工
- ・落石防止網工

【期待される整備効果】

- ・完成することにより、安全・安心な通行が確保されます。